

本年は、94名の新社会人を迎えました

医療法人社団 健育会 理事長 竹川 節男



2018年4月、健育会グループではグループ全体で94名の新社会人を迎え入れました。この新社会人を対象とし、社会人としての基本・心構えを学ぶための新社会人入職研修を、北海道石狩市花川病院の敷地内にあるグループの研修施設ブルーハウスに合宿して行いました。

研修は、2018年4月23日(月)から5日間に渡り、2グループに分かれて行われました。社会人としての基本的なマナーを学ぶ他、各班でグループの特徴をまとめたポスターを作成するなどの共同作業を行って結束力を高めました。さらに研修の中日に当たる4月25日(水)には、私が新社会人に向けて講話を行いました。



社会人として一番大切なことは「責任感」

社会人として1番大切なこと、それは「責任感」です。学生の時は「うっかりしていました」「忘れました」ということが通用したかもしれませんが、社会人になるとそれは許されません。特に医療・介護の現場では、「うっかりしていた」「忘れていた」という事が、患者さん・ご利用者の命に関わってくることがあります。もちろん皆さんは新人ですから、「自分で責任をとる」ことはできません。では、皆さんが「果たすべき責任」とはどのようなことでしょうか。それは**守るべき規則をよく知り、それに則って行動すること**です。

健育会グループでは、「医療介護はサービス業である」と考えていますが、サービス業ではお客様から様々な要求があり、規則に則って行動するだけでは対応できない場合があります。そのような時は、躊躇なく患者さん、ご利用者、ご家族に「上司に相談して参ります」とお話しして待っていただき、**上司の指示を仰いで行動**してください。絶対に自分の判断や思い込みで対応しないことです。これが、まだ一人前になっていない皆さんが全うすべき責任です。

また、医療・介護に限らずサービス業というのは100引く1は99ではなく、ゼロになってしまいます。これは、もし皆さんが自分勝手な判断で行動し、そのことによって患者さん、ご利用者、ご家族から信頼を失う結果になったら、健育会グループ全体への信頼、評価がゼロになってしまうということです。このようなマイナスの行動は組織全体に影響を及ぼします。皆さん一人一人の行動にそのくらいの重みがあるということをしっかりと理解し、皆さんの責任をしっかりと全うして下さい。



医療介護に携わる者としての使命感

2つ目に大切なことは「使命感」です。皆さんには、医療介護に携わる者としての使命感をぜひ持ってほしいと考えています。使命感とは、**医療介護に従事するプロフェッショナルとしての「高い倫理観」と「奉仕の心」を持って職務を全うすること**です。もちろん、元々高い使命感を持ってこの仕事に入ってきた方もいると思います。そのような方は、その使命感を大切に持ち続けて欲しいと思います。しかし現時点で使命感を持っていないという人がいても、心配する必要はありません。健育会グループは皆さんの使命感を、日々の勉強と評価によって育てていきます。そしてそれが責任感にも繋がっていくのです。



今、心を一つにビジョン達成を目指そう！

健育会グループは今年65周年を迎える医療介護のグループです。グループ全体で毎年スローガンを掲げています。今年のスローガンは「**今、心を一つにビジョン達成を目指そう**」です。昨年、大きな病院・施設が新設され、職員の数も増えました。そこで、新しい職員も含めて職員全員が心を一つにし、ビジョン達成を目指そうという意味をこのスローガンに込めました。

では、ビジョンとはなんのでしょうか。それは「あるべき姿、理想像」です。健育会グループで大切にしているのはMVV（ミッション、ビジョン、バリュー）と、それぞれの病院・施設のあるべき姿、病院・施設の夢の姿です。その内容については、皆さんが社会人としてしっかりと仕事ができるようになってきた半年後に行われるフォローアップ研修で、私から皆さんに直接伝える予定です。皆さんには「**心を一つにビジョン達成を目指す仲間**」に、**早くなって欲しい**と考えています。私たちも協力を惜しみませんので、皆さんもそれぞれに努力して欲しいと考えています。

皆さんに約束すること

そして最後に理事長である私からの「皆さんへの3つの約束」について話します。

I. 仕事のやりがい

私は、仕事にやりがいを持てるような職場環境を創ります。頑張った分だけ評価され、また昇進できれば、仕事にやりがいを持つことができるはずです。私はそのようなやりがいを感じることができる職場環境を創ります。



II. 一人ひとりの人生の夢

医療・介護の現場というのは、実際、大変忙しい職場ですが、もしそれらの仕事が自分にとってやりがいのある仕事であれば、どんなに忙しくても1日の終わりには心地の良い疲労感と達成感を感じ、また人生の夢を考えることができるはずです。一方、自分にとってやりたくない仕事ばかりだと、家に帰ってもひたすら疲れるだけで、人生の夢を持つ余裕などありません。私は、皆さんが仕事にやりがいを持てる職場環境を整備することによって、皆さんが心にゆとりを持ち、一人一人の人生の夢が持てる職場環境を創ります。



III. 医療・介護に携わるものとしての使命感

私は、皆さんが医療介護に携われる者としての使命感を育むような職場環境を創ります。具体的には、「勉強」と「評価」です。健育会グループは、グループの中だけでもたくさんの研究発表会があります。そして、グループ内だけではなく外部の学会にも複数の演題を発表しています。なぜ勉強や研究が必要かという、医療・介護に携わる者は全ての人が科学者であるべきだと考えているからです。

科学者に1番大切なことは、理論的な考え方を身に付けることです。それは勉強や研究によって身につけることができると考えています。一方、日々の業務の中で忙しかったり、もっと患者さんのそばに居たいと思ったりすることで、勉強や研究が辛いと感じることも出てくると思います。私も研修医時代にそのように思っていました。しかし忙しい中、研究に取り組むことで身につけた理論的な考え方によって、日常業務の質を著しく向上させることができました。理論的な考え方を身に付けることは、皆さんが大きく成長していくために大変必要なことです。そのような学びの機会をたくさん作り、そして頑張る人をきちんと評価することによって、皆さんの使命感は育まれていくと考えています。

私の講話の後には、26年間もプロバスケットボール界で活躍しているレジェンド、元日本代表、現在はプロバスケットボールチーム「レバンガ北海道」で監督兼選手でいらっしゃる折茂武彦代表兼選手から新社会人の皆さんへ激励のメッセージをいただきました。



「考え、工夫し、実行する」

私は、23歳の時にプロバスケットボールの世界に入って、40歳まで日本代表として戦ってきました。そして47歳の現在も現役選手を続けています。体格的に恵まれているない私が、なぜこの年まで現役としてプレーができていると思いますか？ 私は、どうすれば上手くなるか、どうすれば勝てるかだけを「考え」てきたからです。そして、ダメならば「工夫」し、そして考え工夫したことを「実行」してきました。皆さんもこれから様々な困難にぶち当たることがあると思いますが、何か行動する前には、まずしっかり考えて欲しいと思います。



私が大切にしている言葉

イメージ

意識

集中

イメージ： 私は選手でありながら、クラブの代表を務めています。実は、我々プロバスケットボールチームも病院と同じサービス業だと思っています。皆さんには、患者さん、ご利用者、ご家族、そして我々にはファンがいます。ファンが何をしたら喜ぶのかをイメージしながら、様々な試行錯誤で会場に来ていただいたファンの方を楽しませよう努力しています。

意識： 私はプロの選手なので、常にうまくなるためにコーチから言われたアドバイスなどを常に意識しています。皆さんにとっては、今日理事長からお話があった内容を常に意識して取り組んでいくことが大事です。

集中： 集中が途切れると何が起るかを考えてみてください。当然、我々選手は怪我をしやすくなります。そして皆さんにとってはミスにつながる確率が高くなると思います。集中して仕事に取り組むことが大切です。

規律

習慣

覚悟

規律： 組織にとっては規律が一番大切です。規律が乱れると組織力は高まりません。

習慣： どんな人でも良い習慣、悪い習慣が必ずついています。仕事をしてお金をもらう以上、プロですからプロらしい生活をするのが大切です。日常生活においても、しっかりと良い習慣を身につけてください。

覚悟： 何をするにおいても、覚悟がない人間はうまくいきません。生半可な気持ちで行動してしまうと、失敗してしまいます。皆さんは若いですから、覚悟があればどのようなことでも絶対乗り切れると思います。ですから、しっかりと覚悟を持って仕事に取り組んで欲しいと思います。



心と体のマネジメント

私たちにとっての「質の高い練習」すなわち、皆さんにおける質の高い仕事をするためには何が必要でしょうか。まずは「心のマネジメント」です。先ほど理事長がおっしゃった「やりがい」も心を磨くという意味で、心のマネジメントになると思います。人間なので、例えばミスをした時など心が乱れます。しかしそのミスを気にしていると、さらに別のミスを起こしてしまいます。ミスを反省しつつ、前に進むことができる心・精神力を養って欲しいと思います。

もう一つは「体のマネジメント」です。健康でなければいい仕事はできません。若いから大丈夫というのはなくて、しっかり日頃の生活から体調管理をしてください。

組織力

残念ながら、我々は優勝を狙えるようなチームではありません。しかし今年もしっかりとプロバスケットボールのトップリーグであるBリーグの1部に残留することができました。その要因は何か、やはりチーム力、組織力だと思っています。また、私のチームにはスーパースターはいません。しかし、一人一人が自分が何をすべきか、自分の仕事をしっかりとわきまえてチームに貢献をしていくことで勝ってきました。自分がミスをしてしまった時に、それを人の責任に転嫁するのではなく、まず自分に向けてください。そのようなメンバーや仲間が増えれば、組織はますます強固なものになっていきます。

出会いを大切に

健育会グループの研修で、バスケットボール選手の僕がここで話しさせていただいているのはなぜでしょうか。僕は、北海道にプロチームができるということで11年前に移籍したのですが、そのチームはわずか4年で財政破綻してしまいました。そして7年前に僕がそのチームを引き継ぎました。実はその7年前からスポンサーしていただいているのが花川病院、そして健育会グループなのです。僕を取り上げてくれたNHKの番組を、理事長にたまたまご覧いただいたことがきっかけで、現在に至るまでサポートしていただいています。そういう意味において理事長は私の恩人です。本当にありがとうございます。皆さんにもこれから様々な出会いが待っているといます。一つ一つの出会いをぜひ大切に、これからの人生を歩んで欲しいと願っています。

折茂選手のレバンガ北海道でご活躍の姿に私自身パワーをもらっていますし、厳しいプロの世界で27年間もの間活躍し続ける折茂選手からの言葉には重みを感じられ、新社会人の皆さんの魂に響いたことと思います。

新社会人の皆さんには、私の講話や折茂選手からのメッセージの内容をしっかりと胸に刻みながら、この研修で学んだ「社会人として最低限必要なこと」をしっかりと現場で実行し、早く一人前に成長して欲しいと願っています。

